



よしだ 議会だより



第63号

吉田町議会

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
平成23年11月発行
責任者 議長 八木 栄

平成22年度町の決算・補正予算	P 2～P 6
一般質問 5人の議員が町政を問う	P 7～P 11
常任委員会・特別委員会活動報告	P 12～P 17
浜岡原発対策を考える	P 18
政策追跡ルポ 吉田中エアコン設置	P 19
まちの話題・議会の話題・あとがき	P 20

平成22年度決算認定

平成23年
9月定例会

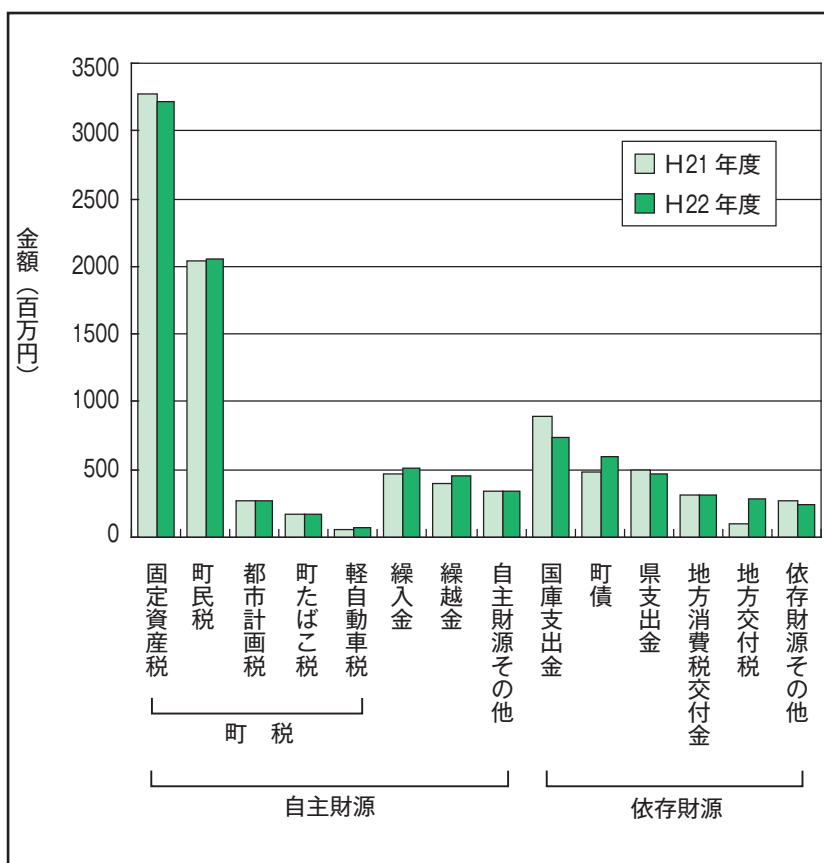
9月定例会では、平成22年度決算の認定が8件、平成23年度補正予算が5件、条例の制定、財産取得承認、町道路線認定が各々1件上程され、3件の報告事項があった。

日程

- 9月2日 本会議初日
- 9月6日 連合審査会初日
- 9月7日 連合審査会二日目
- 9月8日 総務文教常任委員会
- 9月9日 産業建設常任委員会
- 9月12日 全員協議会
- 9月14日 一般質問
- 9月20日 本会議最終日

一般会計歳入決算額

97億3,104万8千円



歳入 対前年度比

- 町税
 - 58.1億円→57.7億円
 - ・固定資産税 32.8億円→32.2億円
 - ・町民税 20.4億円→20.6億円
- 地方交付税
 - 1.0億円→2.9億円
 - 普通交付税不交付団体から交付団体へ変更のため。

*用語説明

- ◎自主財源：町が自主的に調達できる財源。
- ◎依存財源：国や県に依存して、交付されたり、割り当てられる財源。
- ◎不交付団体：地方交付税を交付されない地方団体。地方交付税は、一定の行政サービス水準を維持するため、税収が少ない地方自治体に分配される。H22年度の普通交付税不交付団体は全国1,700市町村中75団体のみ。

問 地方債に関して、借り入れ時期の工夫をし、財政負担減を図っているか。例えば、一時借り入れ後、低金利時に本格借り入れするとか。

答 目的税は目的が設定された一般税。都市計画事業は9億3千万円、都市計画税は2億7千万円で比率は約28%に過ぎない。しかし、できれば22年度決算概要で用途を公表したい。

問 都市計画税は目的税。その使用用途は明確にすべき。

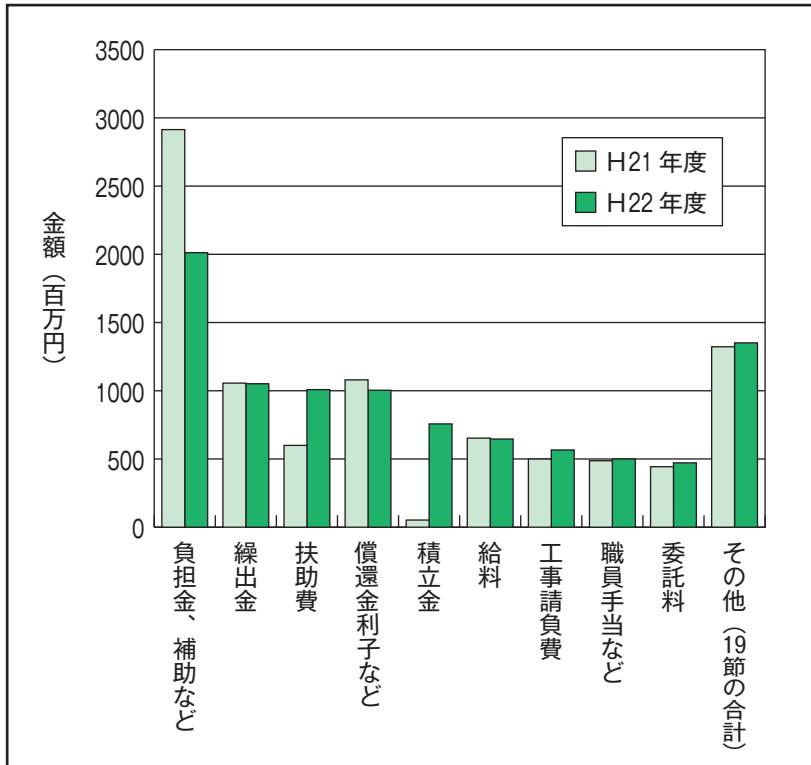
答 納税相談から状況理解している。それ以外の分析は考えていない。

問 町民税未納者減少のために未納者分析は実施しているか。

連合審査会質疑
歳入（4人、12質疑）

一般会計歳出決算額

93億6,757万8千円



歳出 前年度対比

- 負担金、補助金など
29.1億円→20.1億円
吉田町は約350の各種団体に負担金、補助金、給付金などを交付。
 - ・榛原病院負担金 9.1億円→4.3億円
 - ・定額給付金 4.5億円→0円
- 扶養費
6.0億円→10.1億円
 - ・こども手当 0円→5.9億円
 - ・児童手当 2.7億円→0.5億円
- 積立金
0.5億円→7.6億円
 - ・財政調整基金 0.5億円→7.5億円

吉田町の基金(貯金)

(単位：円)

	H21年度末残高	H22年度の増減		H22年度末残高
		増加	減少	
財政調整基金	7億9,482万	7億4,637万	2億8,000万	12億6,119万
減債基金	1億0,167万	1,000万	1億0,000万	1,167万
環境保全基金	594万	2万	0	596万
吉田町立小・中学校建設基金	1億8,861万	65万	0	1億8,926万
合計	10億9,105万	7億5,704万	3億8,000万	14億6,808万

千円単位を四捨五入しているため、計算結果が異なる場合あり。

吉田町の借入金

(単位：円)

	H21年度末残高	H22年度の増減		H22年度末残高
		償還	借入	
一般会計	86億4,224万	7億3,393万	5億9,460万	85億0,290万
土地取得事業特別会計	3億8,870万	1億2,957万	0	2億5,913万
公共下水道特別会計	70億1,012万	2億9,848万	1億9,370万	69億0,534万
水道事業企業会計	33億1,136万	9,199万	5,900万	32億7,937万
合計	193億5,242万	12億5,397万	8億4,730万	189億4,675万

千円単位を四捨五入しているため、計算結果が異なる場合あり。

問 しずてつジャストライン(株)に補助金を出している。赤字路線になった背景は。

答 各高校のスクールバスが走り、バス路線の乗車率が落ちたため。

問 行政事務のアウトソーシングによる財政負担減を考えているか。

答 現状では研究課題と捉えている。

連合審査会質疑 歳出(9人、126質疑)

答 預金金利と一時借入金利とのバランスを考えたこともあるが、現在そのような有利な金利は見当たらない。よって、一時借り入れは考えず、最適時での借り入れを実施。

平成22年度特別会計・企業会計決算

(単位：円)

事業名		歳入	歳出	
特別会計	国民健康保険事業	2,501,258,952	2,365,583,537	
	老人保健事業	844,221	839,323	
	後期高齢者医療事業	191,035,771	184,577,902	
	介護保険事業	1,503,026,548	1,462,033,041	
	公共下水道事業	992,347,459	960,037,400	
	土地取得事業	224,124,162	224,124,113	
	合計	5,412,637,113	5,197,195,316	
企業会計	水道事業	一般会計	548,966,491	506,789,880
		資本勘定	107,221,536	282,273,217
	合計	656,178,027	789,063,097	

水道資本勘定収入不足額175,061,681円は、減債積立金30,000,000円、建設改良積立金70,000,000円、過年度分消費税資本的収支調整額10,470,736円、過年度分損益留保分64,590,945円で補填した。

問 吉田カムカム補助金は参加人数で補助金額が異なる。現在、参加者数は主催者申請。補助金は税金から出している。町は実態調査をしないのか。

答 主催者を信用している。それよりも、大規模イベントを企画していただき、多くの方が吉田町を訪れることを期待している。

問 コミュニティ補助金の使い道、その審査は。

答 コミュニティ用品が補助対象。毎年8月に自治会を通じ各町内会に募集を周知。町が審査し、県に申請。県は審査後お金を町に出す。町はそれを町内会に助成している。

問 下片岡会館がアスベスト未処理施設として公表されたが、その処理は。

問 下片岡会館は非飛散性アスベスト。本来、未処理施設公表は、飛散性が対象で下片岡会館は対象外のはず。通常使用では問題ない。東日本大震災のため審査が遅れているが、本年度中には解体予定。

問 公共施設用地を34人の所有者から借りている。その契約は担当課により、まちは担当課である。長期安定的に借用するために、総務課が一括して管理すべきではないか。

答 総務課の意向は担当課に伝えてある。契約に関しては担当課に任せている。

問 あつまりーナに関して、課題は出ているか。

答 昨年10月に開設したばかりで大きな課題は出ていない。

問 北区いきいきセンターの委託料が減額されている理由は。

答 従来の週4回開催を3回にしたため、経費削減ができた。参加は週1回であり、参加者が30人程なので1回あたり10人として3回開催にした。

問 不妊治療費の一部助成の効果は。

答 22年度は16人に助成した。18年度から今までに30人に助成して、そのうち40%が成功した。

問 予防接種率向上への取り組みは。

答 対象者全員に通知して接種率向上を図っている。

問 商工会への補助金が年々下がっている。その理由は。

答 一つは財政難。もう一つは商工会の役割・環境が変化していること。地域活性化など課題別の企画に対して補助するのが本来の姿と考える。

問 原子力災害に対する防災備品は。無いなら早急な準備を要望する。

答 原子力災害への備品は備えてない。

問 図書館利用者数減の理由、対策は。

答 藤枝市の新図書館の影響と考える。今後、開館時間の延長や移動図書館などの利用促進を検討する。

*今後、連合審査の進め方に関して、当局と議論しながら、より充実した審査ができるよう検討していく。

平成23年度 補正予算



一般会計

補正前の額…… 90億7,116万6千円
 補正額…… 1億4,011万円
 予算総額…… 92億1,127万6千円

歳入の主な補正

- 地方特例交付金1,543万2千円の増額
- 地方交付税3,565万6千円の増額
- 県補助金1,941万4千円の増額
- 特別会計からの繰入金885万8千円の増額
- 前年度繰越金9,016万1千円の増額
- 地方債3,227万4千円の減額

歳出の主な補正

- 職員人件費3,479万8千円の減額
- 大井川流域^{スマイル}ネット事業費1,538万9千円の増額
- 地域支え合い体制づくり事業500万円の増額
- 不妊治療費助成216万円の増額
- 道路改良事業費1,996万2千円（3路線）の増額
- 基金積立金1億899万7千円の増額

一般会計補正

〈主な質疑〉

問 老人福祉対策で要援護高齢者マップの作成とは何か。

答 データのデジタル化を図り、事務の効率化と緊急時に対応できるシステムを構築する。

問 大幡川の改修事業の進捗は。

答 本年度で3年目、国道150号北側を約70mを改修する。

問 AEDについて今後の設置計画、日常点検、管理は。

答 国からのコミュニケーション支援事業で住吉区の8町内会に設置し、点検、管理は町内会が行う。

問 基金の積み立ては財政調整基金と減債基金どちらが優先か。

答 財政調整基金を多く積立て柔軟な財政運営を図りたい。

問 大井川流域スマイルネット事業で無線局免許料と送信設備一式とは。

答 吉田町全域でF M島田を聴取可能にするために中継局を新設する。

問 児童厚生施設整備の遊具の修理は。

答 児童遊園施設の遊具30基余りを修理、危険な遊具は撤去し、新設する。

問 不妊治療費助成の増額はなぜ。

答 近隣市町より率を上げ、不妊治療の促進を図る。

町道の路線認定

- 下川原2号線(片岡) 延長128・5m
- 神戸辻3号線(神戸) 延長97・8m
- 神戸辻4号線(神戸) 延長21m

条例の制定

吉田町行政財産の目的外使用条例の制定

意見書の提出

- 議員発議による次の意見書を可決し、衆参議院議長および関係大臣あてに提出した。
 - 高齢者用肺炎球菌ワクチン接種への公費助成に関する意見書
 - 漁業用軽油に係る軽油取引税の免税措置を求める意見書

▼契約の締結

- 品名・防災行政ラジオ契約の方法…随意契約
- 契約の金額…5,762万4千円
- 契約の相手方…リズム時計工業(株)

平成23年度 **補正予算** 原案 可決

特 別 会 計

国民健康保険事業特別会計

補正前の額	24億9,801万3千円
補正額	8,717万4千円
予算総額	25億8,518万7千円



歳入の主な補正

- 前年度繰越金1億1,650万4千円の増額
- 基金繰入金3,850万円の減額

歳出の主な補正

- 基金積立金5,569万5千円の増額
- 療養給付費償還金等の諸支出金3,147万9千円の増額

後期高齢者医療事業特別会計

補正前の額	1億9,711万4千円
補正額	645万7千円
予算総額	2億357万1千円



歳入の主な補正

- 前年度繰越金645万7千円の増額

歳出の主な補正

- 広域連合給付金643万5千円の増額
- 一般会計繰出金2万2千円の増額

介護保険事業特別会計

補正前の額	16億6,089万4千円
補正額	3,999万5千円
予算総額	17億88万9千円



歳入の主な補正

- 前年度繰越金3,999万5千円の増額

歳出の主な補正

- 基金積立金2,543万4千円の増額
- 諸支出金1,456万1千円の増額
(県補助金返還金、一般会計への繰出)

公共下水道事業特別会計

補正前の額	9億8,423万9千円
補正額	△ 3,851万2千円
予算総額	9億4,572万7千円



歳入の主な補正

- 国庫補助金2,820万円の減額
- 一般会計繰入金642万2千円の減額
- 前年度繰越金2,431万円の増額
- 地方債2,820万円の減額

歳出の主な補正

- 管渠建設費5,640万円の減額
- 浄化センター維持管理費1,738万8千円の増額
- 予備費50万円の増額



町政を問う

増田 剛士 議員

問 吉田カムカム補助金の見直しは

答 大変便利な制度であるので これ以上の緩和策はない

地域交流事業は、「行ってみたいと思わせ、集客ができるまちづくり」により当町の産業の活性化に繋がるものと考えている。

問 もっと多くのイベントに適用するため「吉田カムカム補助金」のハードルの見直しは。

答 「吉田カムカム補助金」は、富士山静岡空港の利活用を高めるための方策としての制度である。

この制度は、吉田町内においてのイベント事業で2万人以上5万人未満の規模で50万円、5万人以上の規模で100万円を交付するものである。

また、町をPRしていただける施策を最重点と考えて、交付条件として、イベント実施中、必ず吉田町を宣伝することを義務付けている。

この補助金は、イベントの完了後の成果に基づいて交付する制度ではなく、実施しようとするイベントの計画の確かさを審査して交付する制度であると同時に、運営資金に活用できるように事前交付する大変便利な制度なので、これ以上の緩和策はないと考える。

問 「吉田カムカム補助金」の募集に関する広報・PRは。



県営吉田公園

答 広報誌によりイベントの内容と併せてPRしている。

F・M島田を活用してイベント情報と併せて補助金制度のPRを行っている。

補助金交付イベントでは、吉田町の宣伝と補助金事業であることの宣伝を義務付けているので、イベントの宣伝によりこの制度がPRされる仕組みとなっている。

問 チューリップ祭りに加え町の4大祭りとならないか。

答 NPOしずかちゃん主催のチューリップ祭りは、他のイベントと同一には出来ない。

行政が、関わりと色々な規制がかかり、しずかちゃん独自の方針でイベントを行ったほうが発展性がある。町としては、今後より発展していくよう環境整備をしていく。



展望台小山城売店

問 富士山静岡空港ティイガーデンシテイ構想の「海の道」にあたる展望台小山城の利活用の施策は。

答 当町から県に強い働きかけをして「海の道」を構想の中に入れていただいた。展望台小山城と県営吉田公園を拠点とすることを考え込んだが、今のところ進展はない。今後も拠点の整備を県に求めていく。



町政を問う

佐藤正司議員

これからのまちづくりについて

問 大震災前に立てた後期基本計画の見直しはするのか

答 防災対策の方向性は変わらな
いので見直しはしない

問 防災対策の財源はどのように考えているか。

答 莫大なお金は掛かるが、防潮堤は基本的に国にお願いする。津波避難タワーは国の動きを見ながら対応していく。

問 後期基本計画の中で2次救急医療を重要としている。榛原病院の位置付けはどうか。

答 徳洲会が指定管理で運営しているが、今後、医師・看護師の確保につとめていく。

問 教育環境の整備に中央小学校の改築がない。今後の計画は。

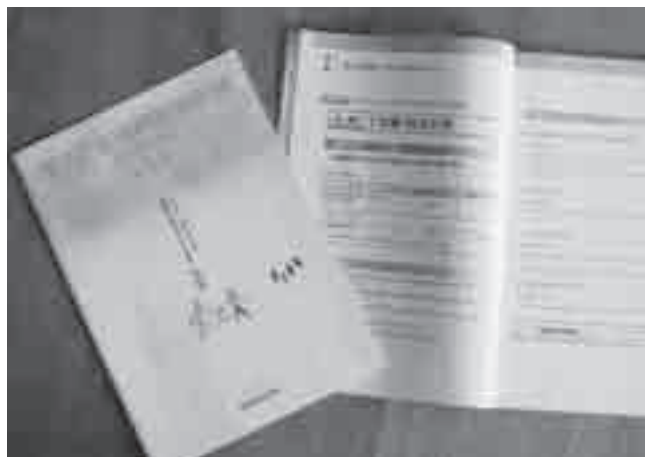
答 後期基本計画、実施計画にも入っていないが平成26年度以降の実施計画には盛り込んだものを考えている。

問 小中学校の建設基金が約1億9千万円あるが、増額すべきではないか。

答 学校建設についての起債事業は手厚くなっている。基金積み立ては財政調整基金を優先させている。弾力性を考えると建設基金を増やすのは難しい。

問 どこでも訪問しますDAYの実績は。

答 平成22年度は1件、23年度も1件



施策の方向などを定めた後期基本計画

問 自治基本条例制定のスケジュールは。

答 当町の条例案は、形式を整えることに終始せず、首長の恣意的な行政運営に歯止めをかけること。市民の皆さまのコンセンサスを得たときが制定するタイミングと考えている。

問 まちづくり機構はどこかにモデルケースがあるのか。

答 別にあります。3月11日以後は、津波防災まちづくりを考えているので着手できていない。猶予してほしい。



吉田漁港第3陸こう



町政を問う

平野 積 議員

問 乳幼児・小中学生ともに現物給付にできないか

答 現時点では難しい。県の補助拡大があれば可能性はある

問 小中学生まで医療費補助制度を拡大した理由は。

答 当町は、少子化対策の一環として、子育て家庭の経済的負担の軽減を図り、子どもの疾病の早期治療を促すため、乳幼児の医療費の補助を昭和48年度から実施している。国は、平成15年、「少子化社会対策基本法」などを少子化対策として制定した。当町でも、子育て家庭の経済的負担を軽減することが子育て家庭の定着と転入を促進し、出生数の増加などが期待できるものと判断し、平成20年度より小中学生医療費補助制度を開始した。

問 乳幼児と小中学生の医療費補助がなぜ異なるシステムで運用されているのか。

答 三つの理由がある。
①システム上の問題。町独自の施策なので国保連合会のシステム変更にも多額の費用が必要。
②親の不安から軽度な症状でも安易に受診。現物給付方式の採用により、自宅での対応が可能な軽症者の受診が増加する。それにより医師が疲弊し、地域の医師不足を助長し、地域医療体制の崩壊が懸念される。
③町税滞納者と納税者を同等に扱うことは不公平。

問 この制度設けた後、効果を調査したと思うがその結果は。

答 調査はしていない。一昨年実施した「健康増進アンケート」では満足度は高い。

問 乳幼児は町民税滞納者でも「現物給付」の対象であるが、小中学生は町民税滞納者は「償還払い」の対象外となる。これは、「子どもの疾病につき適切な療養を受けさせる」との制度の目的と矛盾する。親の責任を子ども

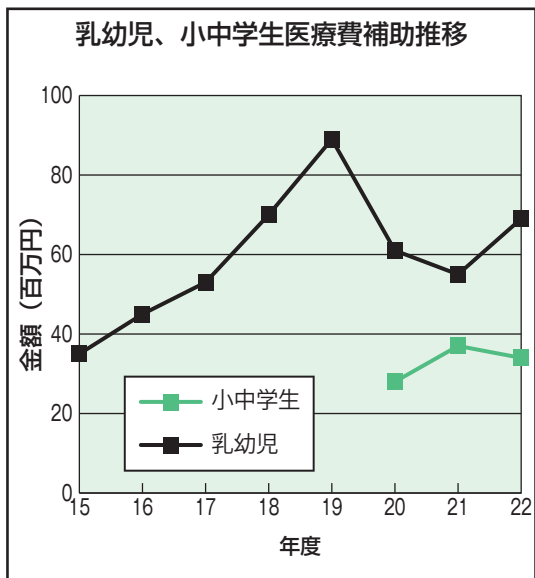
答 未確定情報であるが、来年に小中学生の通院費まで補助を拡大する可能性がある。その時、総合的に判断して、町の方針を決める。

に転嫁するのはおかしい。

答 制度として設けた場合、町民税を支払わない人が吉田町に入ってくる可能性が多分にあるので、町としては慎重になる。

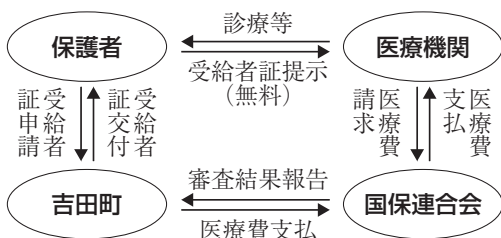
問 今後、県の補助拡大はあるのか。

答 調査はしていない。一昨年実施した「健康増進アンケート」では満足度は高い。

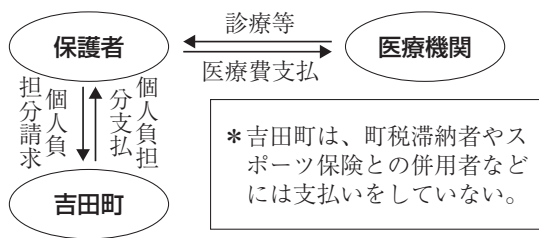


*平成19年度の乳幼児医療費補助には小学生の医療費補助が含まれる。

◎乳幼児医療費補助制度：現物給付



◎小中学生医療費補助：償還払い





町政を問う

山内 均 議員

問 建物の耐震化に対する考え取り組み・計画について

答 平成18年3月に吉田町耐震改修促進計画を策定。公共建築物については静岡県耐震改修促進計画を踏まえ平成27年度末の耐震化率100%とする目標を定めています。

具体的な取り組みと今後の計画

すみれ保育園

改築に向けてのプロジェクトチームを立ち上げ、具体的な内容について検討を進めています。

中央公民館

第4次吉田町総合計画後期基本計画には建て替えを含めた活用の検討を進めている。

大幡会館

町の支援策としては、その建設事業費の一部補助などに限定される。

下片岡会館

地元町内会が建設委員会を立ち上げ、改築に向けての所要の手続きなどを実施している。

体育センターおよび

総合体育館

防災拠点としての役割を意識した備えとして耐震化を早急に検討。

松原団地集会場
撤去も視野に入れた検討を進めている。

問

住宅の耐震改修事業「プロジェクトOUKAI・O」に対する積極的な政策・補助金は。

答

近隣市町の補助金の額を比較検討しながら前向きに検討する。

問

住宅の耐震改修事業の啓発活動について。

答

建築士会との共同による相談会や個別訪問の実施。

問

東海地震による液状化危険区域は。

答

静岡県「第3次地震被害想定」における危険地域は、住吉・川尻地区の海岸沿いと川尻神社付近。

問

下水道施設などの液状化対策は。

答

マンホールトイレを設置した住吉小学校から吉田浄化センターへ下がるまでの距離2・4キロを対象に対策を進めている。吉田漁港は対策対象外。

- ・「静岡県耐震診断基準」では、ランクⅢとして「東海地震が発生した場合、倒壊する危険性があり、大きな被害を受けることが想定される建物」とランクⅡとして「倒壊する危険性は低いながらも被害を受けることが想定される建物」と位置付けられている。
- ・当町における「ランクⅢ」と位置付けられた公共建築物
- ・すみれ保育園
- ・中央公民館
- ・大幡会館
- ・下片岡会館
- ・体育センター
- ・松原団地集会場



木造住宅補強例を紹介(中央公民館)

木造住宅耐震補強助成事業

【市町別事業件数】
静岡県 暮らし・環境部 建築安全推進課

No	市町名	H20 戸数 (うち高齢)	H21 戸数 (うち高齢)	H22 戸数 (うち高齢)
1	吉田町	8(5)	8(1)	18(5)
2	牧之原市	9(2)	23(5)	68(17)
3	藤枝市	73(36)	100(44)	167(78)
4	焼津市	90(37)	119(51)	199(96)
5	島田市	54(24)	50(17)	114(40)
6	御前崎市	14(3)	12(4)	34(6)

【市町別補助金額】

No	市町名	木造住宅耐震補強助成事業	
		一般世帯	高齢者世帯等
1	吉田町	40万円	50万円
2	牧之原市	45万円	55万円
3	藤枝市	40万円	60万円
4	焼津市	40万円	60万円
5	島田市	50万円	70万円
6	御前崎市	50万円	70万円



町政を問う

藤田和寿議員

問 津波防災と後期基本計画との舵とりは

答 計画に基づいて行うが 新たに想定した津波対策を優先する

第4次総合計画の後期基本計画は、3月11日の震災前に策定して、その教訓が反映されていない。限られた財源の中、防災対策と計画施策をどのように優先順位をつけ行政運営を行うのか。

問

津波防災対策との兼ね合いで、重点化施策の具体的事業はどうなるのか。

- ① すみれ保育園の改築・シルバー人材センターの改築
- ② 小学校のエアコン設置
- ③ 新住吉川の開設・屋川下水の整備

答

第4次吉田町総合計画後期基本計画の方向性を大きく変えることはなく、状況に応じて個別事業の実施年度の変更などにとどまるものと考えている。

ただし、新たに建設する建物などは、新た

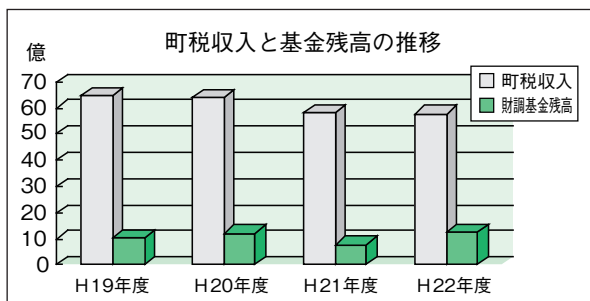
な津波被害想定の結果によって、防災的観点を取り入れた内容に変更することを考えている。



改築予定のすみれ保育園

問

財政調整基金などの取り崩しは。



答

当町の町税収入は、平成19年度末64億7566万円余をピークに減少に転じ、平成22年度末で、57億7740万円余と約7億円落ち込んでいる。また、財政調整基金残高の推移は、平成21年度末に、世界的な経済不況や榛原総合病院の経営悪化などを受け、約8億円まで残高が減少したが、平成22年度末で約12億6千万円となっている。

現下の情勢では、町税収入が大幅に増加するような景況感はなく、深刻な財源不足や災害などによる緊急的な財政出動にも対応できる柔軟な財政運営を行わなければならない。

津波対策という新たな財政需要に対しても、安易に財政調整基金の取り崩しを考えず、国や県の支援を念頭に事業進捗を図りたいと考えている。

問

財源を確保するための国・県への働きかけは。

答

国・県補助制度の積極的活用を強く意識した事業運営を心がけ、他の自治体と差別化が図れるような安全・安心なまちづくりを推進したいと考えている。

問

懸案の総合運動公園整備用地も、来年度に償還見込みであり、平成25年度以後は、起債枠と償還分の財源が増える。今後新たに起債しなければ、平成27年度末で町債残高が、現在の87億円から48億円まで削減する。今後の財政規律の方針は。

答

現在の財政規律は、償還額以上に新たな起債を行わないことです。今後は、起債残高が一定の範囲を越えないようなルール作りなどを行い、行財政運営を図る。

教訓に

総務文教 常任委員会

所管事務調査 「地震・津波対策について」

防災アンケート
ご協力ありがとうございました。
ございました。

委員会は、7月13日
から8月10日にかけて、
地震・津波対策のアン
ケート調査を自治会役
員、町内会長、組長441
人の方を対象に行い集
計した。

【アンケート結果】
〈回答率〉

地区	依頼数	回答数	回答率
住吉	227	203	89.4%
川尻	138	103	74.6%
片岡	60	42	70.0%
北区	16	14	87.5%
全体	441	362	82.1%

7割以上が危険側
住まい地域の安全は

質問1 あなたのお住まいの地域は、安全と
思いますか。それとも危険と
思いますか。

項目	住吉	川尻	片岡	北区	全体
1 安全	2.0%	1.0%	7.1%	0.0%	2.2%
2 どちらかといえば安全	14.4%	11.4%	16.7%	64.3%	15.7%
3 危険	55.9%	49.5%	35.7%	0.0%	49.6%
4 どちらかといえば危険	19.3%	28.6%	26.2%	21.4%	22.9%
5 わからない	8.4%	9.5%	14.3%	14.3%	9.6%

二人に一人の方が
「危険」と感じている。
「どちらかといえば危
険」を加えれば、70%
以上の方が危険性を感
じている。

質問2 あなたが、災害でいま心配していることは何で
すか。次の中から三つ選んでください。

項目	住吉	川尻	片岡	北区	全体	記入人数比
1 地震	32.0%	30.9%	28.9%	31.0%	31.3%	93.9%
2 津波	33.3%	31.9%	30.6%	9.5%	31.6%	94.8%
3 台風	6.2%	5.3%	5.0%	19.0%	6.3%	18.9%
4 豪雨	1.9%	0.7%	1.7%	9.5%	1.8%	5.5%
5 河川の氾濫	3.5%	6.6%	10.7%	14.3%	5.7%	17.2%
6 土砂崩れ、がけ崩れ	0.2%	0%	1.7%	0%	0.3%	0.9%
7 高潮	1.2%	0.3%	0%	0%	0.8%	2.3%
8 落雷	0.5%	1.0%	0%	0%	0.6%	1.7%
9 竜巻	0.5%	0.3%	0%	0%	0.4%	1.2%
10 放射能汚染	17.3%	18.6%	18.2%	11.9%	17.6%	52.8%
11 ガス爆発	0%	0.3%	0%	0%	0.1%	0.3%
12 火災	3.0%	3.7%	3.3%	4.8%	3.3%	9.9%
13 その他	0%	0.3%	0%	0%	0.1%	0.3%
14 心配はない	0.2%	0%	0%	0%	0.1%	0.3%

「1地震」、「2津波」
は各々30%を越えてい
る。本問は回答を三つ
選択する複数回答であ
ることから、ほぼ全員
の方が心配を感じてい
ることになる。放射能
汚染に関しては、17%
6%で約半分の方が心
配を感じている。



住吉海岸の防潮堤

質問3 地震や津波の時、避難場所について心配ごとはあ
りますか。選んだ理由も記入してください。

項目	住吉	川尻	片岡	北区	全体
1 心配ない	9.4%	2.9%	19.0%	23.1%	9.7%
2 心配	77.7%	84.5%	73.8%	69.2%	78.5%
3 わからない	12.9%	12.6%	7.1%	7.7%	11.8%

避難場所心配
78.5%
%

◎心配な理由

- ・津波時に逃げる高台、高い建物が無い。
- ・地震時の避難場所が遠い。
- ・避難場所そのものに不安を感じる。
- ・避難訓練と本来の避難場所が異なる。
- ・高齢者が家にいる。

大津波対策は 東日本大震災を

- 地震時の避難場所が遠く、避難している時に津波に襲われる。
- 避難途中のブロック壁や家屋崩壊による障害物。電線の下を通る。
- 道が狭い。道路が混雑。
- 避難経路が明確ではない。

◎心配な理由

質問4 地震や津波の時、避難経路について心配ごとはありますか。選んだ理由も記入してください。

項目	住吉	川尻	片岡	北区	全体
1 心配ない	20.5%	4.9%	16.7%	36.4%	16.1%
2 心配	61.5%	82.4%	64.3%	36.4%	67.0%
3 わからない	18.0%	12.7%	19.0%	27.3%	16.9%



質問5 自宅の海拔を知っていますか。

項目	住吉	川尻	片岡	北区	全体
1 知っている	42.4%	42.0%	64.3%	61.5%	48.4%
2 知らない	57.6%	58.0%	35.7%	38.5%	51.6%

海抜表示 100カ所 正常表示と異常表示を合わせて75カ所は●甲 設置場所の電柱に海抜表示がないところ25カ所は●甲



右図は、町が平成9年に住吉・川尻の100カ所に表示した場所である。委員会を確認したところ現在、75カ所が残っている。

◎心配な理由

- 津波避難場所となる高い建物が無い、または少ない。(51%)
- 津波避難施設の収容能力。(20%)
- 津波避難施設の地震、津波に対する耐久性。

質問6 津波の時、津波避難施設について心配ごとはありますか。選んだ理由も記入してください。

項目	住吉	川尻	片岡	北区	全体
1 心配ない	8.1%	3.9%	14.3%	21.4%	8.1%
2 心配	71.6%	74.8%	73.8%	50.0%	71.9%
3 わからない	20.3%	21.4%	11.9%	28.6%	19.9%

7割以上が津波避難施設に不安

◎重要と思う理由

- 住民の協力関係を持つことが大切で、その中心となっしてほしい。(42%)
- 高齢者、要介護者の避難援助。
- 情報発信を期待する。
- 持ち回りの役員では無く、専従体制の構築が必要。

質問7 地震や津波の時、自主防災会の活動は重要と思いますか。

項目	住吉	川尻	片岡	北区	全体
1 重要	70.9%	62.2%	76.2%	100%	70.3%
2 重要ではない	4.6%	8.2%	2.4%	0%	5.1%
3 わからない	24.5%	29.6%	21.4%	0%	24.6%

住民の協力関係の必要性、自主防災会の役割に期待

質問8 地震、津波が発生したとき、どの時点で避難の判断を行いますか。次の中から一つ選んでください。

項目	住吉	川尻	片岡	北区	全体
1 マスコミ等の報道	14.1%	12.0%	28.9%	0%	14.6%
2 町からの避難勧告	45.3%	37.0%	18.4%	23.1%	39.1%
3 周辺の状況から	35.9%	44.0%	47.4%	76.9%	41.1%
4 町内会や隣組の方	3.1%	5.0%	5.3%	0%	3.8%
5 避難しない	0%	1.0%	0%	0%	0.3%
6 わからない	1.6%	1.0%	0%	0%	1.2%

質問9 避難生活が長期化した場合、特に不安に思うことは何ですか。次の中から二つ選んでください。

項目	住吉	川尻	片岡	北区	全体	記入人数比
1 トイレ等の衛生問題	27.5%	34.0%	30.8%	23.1%	29.6%	59.3%
2 プライバシー	16.8%	12.0%	15.4%	15.4%	15.2%	30.4%
3 人間関係	7.8%	8.5%	9.0%	7.7%	8.1%	16.2%
4 水、食料等の不足	26.5%	28.0%	23.1%	26.9%	26.5%	53.1%
5 ペットの問題	3.2%	2.5%	1.3%	0%	2.7%	5.3%
6 学校や行事	0.8%	0%	0%	3.8%	0.6%	1.2%
7 医療機関の対応	12.8%	10.0%	12.8%	23.1%	12.4%	24.8%
8 情報収集	4.3%	4.5%	6.4%	0%	4.4%	8.8%
9 その他	0.3%	0.5%	1.3%	0%	0.4%	0.8%

質問10 災害（地震・津波）が発生時、特に知りたい情報は何か。次の中から三つ選んでください。

項目	住吉	川尻	片岡	北区	全体	記入人数比
1 地震の規模や余震	16.6%	21.4%	12.4%	17.5%	17.5%	52.5%
2 被害の状況	10.7%	14.6%	11.5%	12.5%	11.9%	35.8%
3 家族や知人の安否	25.9%	24.6%	27.4%	30.0%	25.9%	77.6%
4 避難場所の状況	8.2%	7.9%	8.8%	2.5%	8.0%	23.9%
5 救急・救助・看護	5.8%	6.1%	4.4%	2.5%	5.6%	16.7%
6 食料・水などの確保	17.8%	13.6%	15.9%	12.5%	16.2%	48.7%
7 道路等の交通施設	2.3%	0.4%	0.9%	2.5%	1.6%	4.8%
8 町の対応状況	2.4%	2.1%	4.4%	12.5%	3.0%	9.0%
9 警察等の救援活動	0.9%	0%	1.8%	0%	0.7%	2.1%
10 留守にしている自宅	4.4%	3.9%	2.7%	2.5%	4.0%	11.9%
11 インフラの復旧状況	5.1%	5.4%	9.7%	5.0%	5.7%	17.0%
12 その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%

70%以上の方が「家族や知人の安否」情報をほしがり、最も重要な情報と考えている。次いで約半分の方が「地震の規模や余震」、「食料・水などの確保」の地震後の生活に関する情報を得たいと考えている。

「町からの避難勧告」や「周辺の状況から」が各々約40%で多く、他者依存による判断が多い。「マスコミなどの報道」による自己判断で避難する方はまだ少ない。

「トイレなどの衛生問題」「水、食料などの不足」が多く、各々半分の方が不安に感じている。次いで「プライバシー」の順。

質問11 地震や津波に関して、要望が有りましたら自由に記入ください。

津波の避難場所、避難経路 36.6%

「高い避難場所（ビル、タワーなど）がほしい」との意見が多い。

- ホテル、マンション、アパートなど3階以上の建物などに緊急時の避難先として依頼してもらえないだろうか。
- 避難区域、高台、ビル（提供してくれる会社）などのマップがほしい。
- 防潮堤（10m以上）の強化。
- ハザードマップに液

状況の情報も盛り込んでほしい。

情報関連 17.7%

- 災害が発生したら信頼のできる情報を町が素早く発信してくれたり安心だと思える。
- 常に最新情報の提供をお願いしたい。
- 同報無線は聞き取りにくい言葉では無く、サイレン、チャイムなどを鳴らす方法で伝える。（例・津波で避難勧告サイレンを1回のくり返し）

町の姿勢 13.5%

- 地震、津波対策に関する、短中長期計画を早い段階で示し、周知願いたい。
- 防災には日頃から住民の繋がりが大切である。みんなが協力できる対策や体制づくりが必要。

- 東日本大震災クラスの大きな地震、津波があった時、この地域ではどのくらい被害が予想されるのかシミュレーションしてほしい。

地震の避難場所、避難経路 7.3%

- 避難ルートが明確でない。通っても良い箇所とダメな道路を明確に。
- 町内避難経路、場所の地図作成。
- 町内の各地域ごとの安全な避難場所の確保。

原発事故 5.2%

- 浜岡原発の閉鎖。
- 浜岡原発の更なる安全対策強化。停止している核燃料は存在するので稼働原発と同程度の対策は必要と思う。

委員会では、アンケート調査結果を基に津波避難場所の確保や町内全域への海拔表示などの提言を取りまとめる予定。この成果は、議会に報告した上で、当委員会に所属していない議員の意見も取り入れて町政に反映させていきたいと思う。引き続き町民の皆さんの安全・安心確保に努めていくこととしたい。

委員長 佐藤正司

◆8月16日(火) 委員会

調査案件の一つである「産業振興」について、産業構造の実態把握の一環として、第一次産業の農業関係の最も関連の深いハイナン農業協同組合との意見交換会を実施した。同組合の事業の概要と、農業の現状と課題の説明。

町の主な農産物はレタス、水稲、お茶が主流で、レタスは、JAハイナンレタスとして、京浜地区にほぼ100%出荷され、その出荷額は、年間約5億円である。また、サニーレタスの評判は、全国でもトップクラスであるが、栽培農家が増えない。レタスの栽培面積は変化はないが、後継者不足で、農家は、最盛期400戸あったものが、現在は70戸に減少した。

JAハイナン
意見交換会

- ・ 営農者の高齢化や後継者不足に休耕地が増加している。
- ・ 農地に隣接して、宅地化が進み作物の栽培環境が良くない。
- ・ 住吉地区の吉田田んぼは、排水が悪く他の作物の栽培に適していない。
- ・ 大規模量販店への出荷は生産量が少なく吉田町を含め榛南地区だけでは対応できない。
- ・ 将来的には、県規模での出荷となり、吉田の特産品レタス、メロンと発信できなくなる。
- ・ 原発事故による放射能の農産物への風評被害については、茶農家に影響があった。お米についてもお茶とは違い放射性物質は検出されなかったが、古米が品切れ状態となった。

◆8月18日(木) 委員会

レタスについては、静岡県における農水産物の放射性物質検査計画で平成24年1月に実施される予定である。

商工業の産業の現状と課題を把握するため、吉田町商工会との意見交換会を実施した。商工会の組織面および事業内容について説明。

会員は平成23年7月末で765会員である。会員の減少に歯止めをかけるため増強目標を年間30会員とした。平成22年度実績は26会員加入した。

主流事業は、経営改善事業、地域総合振興事業があり具体的な活動、商工業や観光の推進、金融、税務、労務対策など商工業の振興や福祉増進の活動説明を受けた。

吉田町商工会
意見交換会

- ・ 商工会への補助金削減の理由は、予算付けの説明がほしい。
- ・ 商工会員の減少は、後継者不足による廃業が原因。
- ・ 町内へ企業誘致、企業の支店、工場が来た時は、行政サイドから商工会への加入を促してほしい。
- ・ 地元の産業を活性化して、税金を沢山納めてもらうようにすることが大事。
- ・ 産、官、学の連携に産業課の動きがほしい。
- ・ 産業課を、農漁業、商工業、観光に課を分けることはできないのか。
- ・ 国道、県道からむ工事の進捗が遅すぎる。管轄が違うなどとは言わないで、町内の道路であるという認識でやってほしい。

◆8月24日(水) 委員会

健康・福祉事業も大事だが、税金を生む産業界(商工業)の活性化に力を入れてほしいなど意見や課題があった。

9月議会に予定の議案説明を当局から受ける。

前回、実施したハイナン農業協同組合と商工会との懇談会について感想と意見を各委員から聞いた。



産業懇談会(商工会)

委員長 枝村和秋

吉田町議会基本 条例に関する住 民説明会を開催

「みんなで作ろう！語りっ、あしたの町議会」

※8月22日午後7時

北区自彊館参加17人

※8月25日午後7時

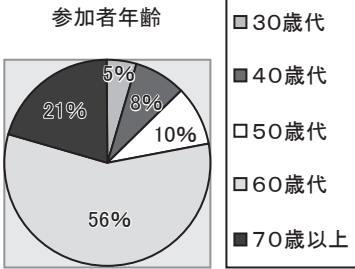
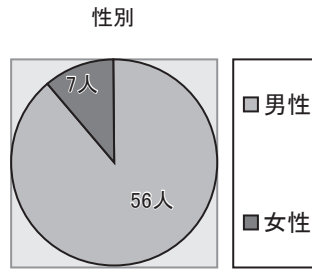
住吉会館参加12人

※8月27日午後1時半

はあとふる参加12人

※8月30日午後7時

川尻会館参加23人

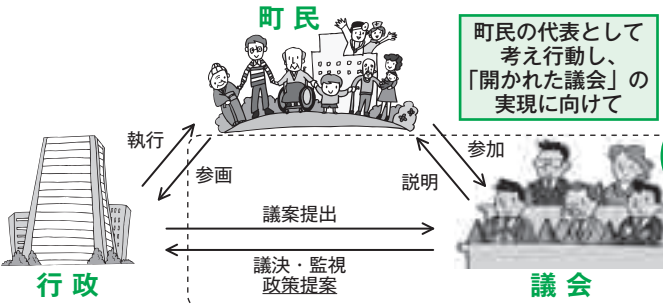


議会改革特別委員会

説明内容

議会改革の目的

豊かな吉田町の継続的な発展のために、町民の信頼に応え、責任を果たし、しっかりと機能するシステムを形成すること。



議会改革の必要性

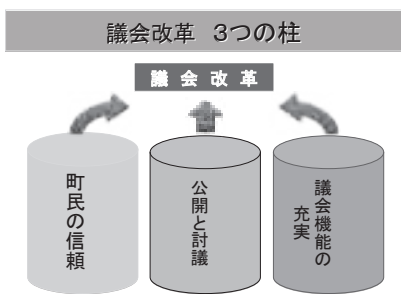
社会環境が複雑化し、さまざまな課題に直面している。議会はこれまで以上に本来の役割を果たし、ひとつひとつの課題を有効な議論によって解決していかなければならない。

議会に

求められることは。

町民の代表として町民の声に耳を傾け、行政に声を届け、ひとつひとつの課題をしっかりと解決すること。

議会改革三つの柱



議会基本条例とは

町民の皆さまへの約束

- 1 議会活動の原則をまとめ、議会とその構成者たる議員の指針とルールを宣言するための条例、すなわち、町民の皆さまへの約束である。
- 2 議会と議員は、この条例に基づいて活動し、町民の皆さまの信託に応えるべく行動し研鑽に努める。

吉田町議会基本条例案

本文

- 第1章 総則
- 第2章 議員の使命
- 第3章 議会活動
- 第4章 町民と議会との関係
- 第5章 議会と行政との関係
- 第6章 議会改革の推進
- 第7章 議会の体制整備
- 第8章 最高規範性及び確認見直し手続

主な内容

☆住民参加関係

議員の使命・議会報告会・出前会議

☆情報公開関係

議会活動の原則・議会の公開・議会広報の充実

☆説明責任

議会報告会

☆政策立案

出前会議・交流及び連携の推進

☆議員の資質向上

議員の使命・議員の行為規範・議会及び議員の責務



質疑内容

問 この条例を作るきっかけは何ですか。

答 議会の行動指針を作り、議会の魂を示し町民の皆さまに約束することである。

問 町民からの意見をどのようなルートで聞いて反映するか。

答 皆さまの声を頂くのは、各地区の議員を通じて行うのが一番早いと思いますので、とにかく議員を呼び付けて下さい。また、ご意見を反映するために、皆様のもとに向く出前会議を計画している。

意見 出前会議は、分かりやすく、ひな型とか用紙とか、いつでも出来る状態にしてもらいたい。

問 他の市町と違う特徴は。

答 一番の柱は、町民の皆さまの参加です。皆さまからの信頼を得るために、約束し行動する。

問 2年に一度議会改革の進捗や成果についての自己評価と公表は、どのように行うのか。

答 議会改革推進会議でどのように評価していくか協議する。何が出来て、何ができないか、確認し改善を約束していくことを議論して公表する。

問 自己評価は、2年と言わずに半年で行ってほしい。質問などについても評価に入れて充実してほしい。

答 こうした報告会を行うことが、評価を頂き議会改革に繋がる。一般質問や会議においての発言回数も考慮していく。説明会

や報告会などの意見交換するときにはチェックしてほしい。

問 町民からこのように意見をたつぷりと聞く場を、もっと作ってほしい。

答 町民の意見を議決に反映させるため、このような機会や寄り合いのような車座の出前会議で町民の声を聞く場を作る。ご意見やご要望を議員や議会事務局にいただき、出前会議の開催を検討し、皆さまに対して知る権利と説明責任を果たす場とする。

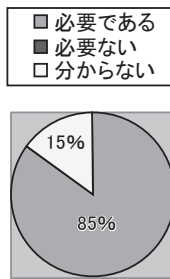
問 議会基本条例は議会のルールである。非常に重く思う。議会と町民との約束ごとでルール違反があった場合どうするか。

答 議会の責務として、第19条で罰則規定までは踏み込んでいないが、自己評価しながら町民代表として

説明責任を果たすことが大事と考える。4年に一度の選挙において判断材料になる考え方もあると思う。

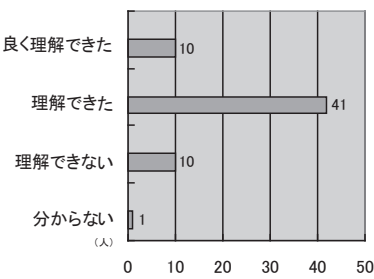
アンケート結果

問1 説明会の内容はいかがだったでしょうか。

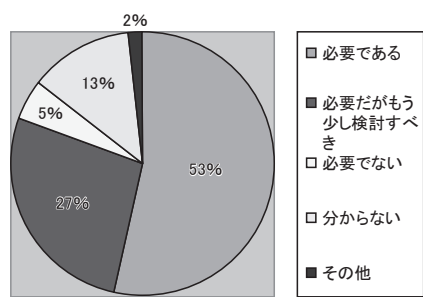


問2 議会改革は必要だと思いますか。

問3 議会改革の目的はどのようでしょうか。



問4 議会改革の制定は必要だと思いますか。



問5 吉田町議会の目指す方向はいかがでしょうか。

アンケート意見

- ・ 今回の説明会で住民の参加が少ないのは何かを検討する必要があるのではないか。
- ・ 若い人が参加できるように、ネットの利用を考えてほしい。
- ・ 時期をみて検証を常に行い、説明を願いたい。

- ・ 説明を聞き、ある程度の理解はできたが、議会の自己満足的条例ではないかと思う。
- ・ 「議会改革」をしようという熱意が強い中で条例として制定し実施しながら改善を加えていけばよい。
- ・ 町民の考え、意見を吸い上げ、正しい町政発展のため議員のレベルアップを図ってください。

- ・ 参加者を増やす努力が足りなかったのではないかな。
- ・ 議員と町長との質疑応答には、事前準備をしっかりとしてほしい。

- ・ 議会をインターネット配信にして、多くの人が見る機会を増やすことが必要だと思えます。
- ・ もっと身近な議員さんであってほしいです。
- ・ 2年前から成果が上がっていると感じられます。案から制定までの先はまだまだ掛かりますが、これからが本当の大変な時期も来る事と思います。町民共々みんなで作ろう、語ろう、がんばりましょう。町民との距離を身近な位置づけにも活用願います。

委員会活動内容

- ・ 条例案の検討及び条例説明会について協議委員会開催日
 - ・ 6月15日・22日
 - ・ 7月6日・14日・22日
 - ・ 8月8日・22日・27日
- 委員長 藤田和寿

浜岡原発対策を考える

9月12日(月)
全員協議会を開催

浜岡原子力発電所対策
について、町と懇談会
を実施

町長の基本的な考え方

・原子力発電対策には
二つの議論がある。

①エネルギー政策にお
ける原子力発電の位
置付け

②浜岡原子力発電所の
立地と再稼働

①について

エネルギー政策の原
子力発電所は、国およ
び事業者が、十分な危
機管理を行なう前提に
ある。

しかし、今回の福島
第一原発の対応を見る
限り、この前提が崩れ
ていたと認識する。

放射性廃棄物の処理
問題、事故後の制御・
管理不能、どのような
事故に対しても国民の
安全が担保できなけれ
ば原子力による発電は
過渡的な発電形式であ

ると認識する。
そして、代替エネル
ギーの開発を強力に推
し進めるべきである。

②について

浜岡原発の立地は、
地震の巣の上にあるこ
とは、周知の事実であ
る。東海地震は、M
8・5〜9にも達する
と言われる。

福島第一原発の事故
原因は、まだ明確に
なっていないが、津波
だけでなく地震動にも
あると思う。

浜岡原発は、立地の
状態から再稼働につい
ては反対せざるを得な
い

質疑

①について

問 電力の安定供給
のため原発は過渡
的な電力源と認識して
いるが再稼働について
は。

答 安全テストによ
り安全が確認出来

れば良いが、原発はい
つまでも続くものでは
なく過渡的なものと位
置づけている。

②について

過渡的とはどれ
くらいを考えてい
るか。

エネルギー政策、
代替エネルギーを
どう考えるか国策の問
題である。今、何年と
一概に決めつけるわけ
にはいかない。

近隣市町の首長
間の連携は。

問 他市町と意見交
換はある。吉田町
としての団体意思は吉
田町が決めるものだ
と考えている。

答 再稼働反対の意
思表明はできる
が、再稼働阻止のため
の議論、行動してい
なければならぬ。町
の意見は。

答 現在は団体意思
の表明が必要と考
える。それ以降のこと

は考えていない。

問 町、議会が議論
し吉田町が一体と
なり、国、県、中電に
訴える仕組みをつくる
考えは。

答 アクシヨンプロ
グラムについては
今後考える。

問 EPZ(防災対
策を重点的に充実
すべき地域の範囲)に
関し周辺4市(藤枝、
焼津、袋井、磐田)は
働きかけをしているが
当町がない理由は。

答 藤枝・焼津・袋
井・磐田の4市は、
EPZの拡大を中電に
対して求めているが、
これは国へ求めるのが
正解。袋井・島田・吉
田および中電で構成す
る情勢連絡会があり、
浜岡原発に何かあれば
情報が入る。

EPZの拡大は浜岡
原発の稼働が前提とな
り、これは如何なもの
かということである。

問 EPZの拡大
は原発の再稼働容認
とは限らないと考える
が、いかがか。

答 EPZの問題は
原子力委員会の問
題である。国の方針を
待つ。EPZの拡大を
求め発言の権利を取る
のも一つの考え、廃炉
にするのも一つの考え。
いろんな選択肢がある。

問 町内の学校など
で放射能測定をし
ないのか。

答 今のところ予定
はない。
※給食センターで放射
能測定を実施するこ
とが10月末に発表さ
れた。

以上が懇談会の主な
内容である。

今回の懇談会を踏ま
え浜岡原発のあり方
について町民の皆さま
の意見を取り入れ、更
に議論を重ね議会とし
ての方向性を示してい
く。

議長 八木 栄

政策追跡ルポ

吉田中に入ったエアコンはどう？

町の施策について、議決後の進捗状況、効果、反響を関係者からお伺いし、「政策追跡ルポ」として報告します。そして、議会はそのご意見を今後の議会審議に活かしていきたいです。

初回の本号では本年度吉中に導入されたエアコンを取り上げ、生徒、先生、保護者の皆さんからご意見をいただきました。

エアコン導入に対する感想は

【生徒】快適になり、授業に集中できるようになったとの意見が多くありました。中には学校に行くのが楽しみになったとの意見もありました。

【先生】町の積極的な教育環境整備や授業に影響のない短期間工事に対する感謝の声がありました。先生方もエアコン設置については、



教室の窓側に設置されたエアコン
冷風は廊下側に流れる

「青天のへきれき」だったそうです。一方、効果として、教室の「しずけさ」を挙げた先生もいました。従来、暑さ対策で窓やドアを開け、風通しを良くしていましたが、グラウンドや廊下からの声が授業の邪魔になっていたとのこと。

【保護者】税金で設置してもらった事への感謝の気持ちを持ち、大切に使用してほしいとの意見がありました。また、老朽化した時の修理、交換に対する不安を感じています。

困ったことは

エアコンが南側窓側に設置されたため、冷風が廊下側に流れ、廊下側の人は寒くなり、ジャージを着て授業を受ける方もいるとのこと。また、窓側は日差しのため、冷房の効果は十分では無く、黒い遮光カーテンで対策しているそうです。

また、閉め切りとなるためや寒暖の差などで気分が悪くなり、保健室で休む生徒もいるとのこと。ただし、そのために中途下校し

た生徒はいません。

*教室内の温度不均衡を改善し、生徒たちの健康維持のために、サーキュレーターなどの空気循環器の設置が望まれます。結果的に節電にも繋がります。

節電との関係をどう思う

生徒は、節電を強く意識した上で使用しています。世の中、家庭での節電に対し、自分たちだけ学校で使うことへの抵抗、それに対して、せっかく設置してもらったのに使わないのはもったいないとの心から28℃以下にならないようになど工夫調整しながら使用しているとのこと。

エアコンの長期休暇での使い方

生徒たちは、長期休暇を大会やコンサート



に向けての部活、家族旅行など家族や祖父母との触れあいを大切に過ごしています。

エアコン設置により、自分のペースで勉強できるようにいくつかの教室を開放してほしいとの要望が生徒からありました。これは先生方のエアコン利用のアイデアとも合致します。5千万円の費用を掛けて設置したエアコンです。町、先生、保護者、そして、主役たる生徒たちの声もしっかり取り入れ、最大限の有効利用を考えていかなければなりません。

調査 平野積

議会の話題



パワーポイントでわかりやすく説明した
議会基本条例説明会（住吉会館）

まちの話題



防災訓練 AED の講習（自彊小）

議会を傍聴してみませんか？

議会の傍聴は町政の動向を知る良い機会です。

次の12月定例会の日程です。

12月2日（金）	本会議
12月6日（火）	常任委員会
12月8日（木）	
12月9日（金）	全員協議会
12月13日（火）	一般質問
12月14日（水）	
12月16日（金）	本会議

午前9時より開会です。
希望者は議会事務局へ申し込んで下さい。

☎三三三―二一四一



運動会の鼓笛隊行進（住吉小）

あ と が き

今年は、3月11日に起きた東日本大震災、9月の台風による災害と自然災害の恐ろしさを実感した1年でした。災害はいつ起きるかわかりません。

常日頃の災害に対する心構え、用心が必要です、決して怠らないように：

さて、この「議会だより」は、皆さまに読みやすく、わかりやすい紙面づくりをモットーに編集作業をしております。毎号少しずつ変わっていきますのでお楽しみに。

（T・M）

議会広報特別委員会

委員長 吉永 満榮

副委員長 河原崎昇司

委員 増田 剛士

杉本 幸正

山内 均

平野 積

三輪 正邦